



## 第536回例会

1974~1975 第32回 1975. 2. 19

「Renew the Spirit of Rotary」  
 「ロータリーの精神を振るい起こせ。」  
 (William R. Robbins R.I. 会長指針)



角谷隆一 会員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル  
 事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

### 本日のプログラム

『合同例会』

### 第535回例会記録

- ◎司 会 青柳 喜一 会長
- ◎ゲ ス ト 沢村 孟氏 伊藤 正高氏
- ◎ビ ジ タ ー 函 館 R.C. 阿部 文男君 他13名  
 函館東R.C. 山口 栄君 他1名  
 五稜郭R.C. 外山 省吉君 他5名
- ◎齊 唱 我等の生業

- ◎会長報告 なし。
- ◎幹事報告 市内5クラブ合同夜間例会が2月19日(水)、午後6時~8時まで駅前拓銀ビル8階大ホールに於て行なわれます。
- ◎親睦活動委員会 ニコニコボックス  
 下郡山会員 クリスマス家族会の写真代金の余剰金  
 野村・小松会員 法人会のマニラ経済視察旅行無事終了  
 大井会員 夜間例会を欠席しましたので  
 椎谷会員 当クラブを長い間欠席したので
- ◎卓 話 『不況下における節税について そのII』三沢税務会計事務所 税理士

三沢 洋大氏  
 先週に続いてのお話しですが、今日は軟いお話しにしようと思います。節税について東京国税局の納税相談室にある会社の役員が次の様な相談を持ってきたそうです。会社の財産を差し押えてもらうと云う事です。財産を差し押えてもらうと、その期間内だけは通常日歩4銭の所、日歩2銭になると云うメリットがある。これなどは知恵をしぼった結果の案ではないかと思われる。税金の時効は3年。但し不正等の行為による時は5年です。つまり5年間待つとよいのです。税務署の調査における昼食等については各法人から昼食時なのに食事を出したら箸もつけない。不愉快だと云うお話しを聞きますが、この点については各税務署の指導は車の送迎は出来るだけことわりなさい。又昼食についてはそれ相応の金額を払ってくる様にと指導しています。大阪であった話ですが、紅茶は飲んででもいいがコーヒーはいけないと云う通達があったのですが、これなどさしずめ一杯のコーヒーから恋が芽ばえたと云う歌がありましたが、こう云う所からきているのではないかと思われる。調査ですが、この期間は2人で13日と云う日数で行くと指導しておりますので函館の法人は4,500~4,700位ありますので1年で450件位より出来ませんので10年に1回と云う勘定になります。ですから2年に1回とか3年に1回とか調査を受けている所は特別に何かあると思われるので良く検討して下さい。節税とは何か一つのアイデアとして課題提案をすると云う事であって税金をごまかすと云うのではないと思われる。税法をほじくり、ほじくり適用される所を見つけると云う事にもなるのです。函館の税務署の内に税務相談室と云う所がありますので、せいぜいご利用下さい。

### ◎出席報告 (1/29)

会 員 数	54 名	出 席 率	函 館 北 (1/29)	98.15%
出 席	42 名		亀 田 (1/20)	91.15%
欠 席	12 名		函 館 東 (1/21)	99.01%
他クラブ出席	11 名		函 館 (1/23)	90.70%
出席合計	53 名		函館五稜郭 (1/24)	100%
出席除外者	0 名			

◎第534回例会欠席者 大嶋・森(富)・成田・関本・成沢・小笠原・戸栗・駒井・沢村・佐々木・北条・吉井・山崎 (以上13名敬称略)

次回例会日 2月19日

プログラム 『未 定』

●今週の会長報告はありません。

●幹事報告

2月15日函館東R.C.の例会は午後6時より湯の川「めんどり亭」に於て囲碁会が催されます。腕に自信のある方は振って御参加下さい。ビジター料は3,000円です。

●R.I.創立70周年記念として市内5クラブの合同夜間例会が開催されます。

従って2月17日～21日の市内5クラブの例会は全部2月19日の午後6時より8時までの合同例会になります。尚、当日出席出来ない人は今週中にメークアップされる様御注意申し上げます。

日時 50年2月19日(水)午後6時～8時

場所 函館駅前拓銀ビル8階大ホール

会費 不要

(講演者) 函館昭和女子学園高等学校校長 四倉 太郎氏

●親睦活動委員会 ニコニコボックス報告

藤林会員 誕生祝と結婚祝を同時にして戴いたお礼として

田中会員 入会記念として

●卓話 函館の将来を占う 新 善次会員

久し振りに私の卓話を被露する事になり、喜びにたえません。「函館の将来を占う」と云う事ですが、当るも八掛当らぬも八掛どうかお聞き流し下さい。

まず話の順序としてアラスカの事から始まりますが、終戦後北洋漁業が再開され相当の成果を挙げて来ました。この豊富な海洋資源の他にアラスカには大原野があります。膨大な原野にはわずかに30万ぐらいの人口であります。この国の資源の一番は森林であります。日本からも大手企業が乗込み森林資源の開発に取組んでおります。又、地下資源には我国がもっともほしい油が計算できない程埋蔵されております。これも日本の商社からの開発資材がはこばれています。この様な資源に恵まれた国と我が函館は最短の地に有ります。恐らく空便で4時間で、主都アンカレッジに着くのであります。木材の一部は紙の原料として道内に輸入されている事は御存知の事と思えます。

我が函館では何としても近辺の町村を合併して40万都市を作るのが先決であります。又、上磯の埋立は是非とも行なはなければならない事です。上磯の日本セメントも現在の能力の4倍以上を必要とし、上磯海岸に自家発電所の建設の企画がなされております。所がわずかの事でストップしているのは悲しい事であり、早々に解決して行くのが函館の発展につながる事と確信します。

私の話しはまだ半分程度なのですが、ここ5～6年の間に函館も大きく変る事を信じており、又その様でなければならぬと思います。又の機会にこの続きをしたいと考えております。

●年のはじめに カパナー 森松 定男氏

ロータリー創立70年の輝かしい新春にあたりお慶びを申し上げます。

昨年中のロータリアンとしてのご献身とご厚誼に対しまして深い敬意と感謝をささげます。私も重い荷を負いながらも、どうにか折り返し点にたどりついた感じです。たしかにこの半年をふりかえって、年度早々小平クラブの創立にはじまって、チミケップロータリーキャンプと国際交換学生のオリエンテーション、ロビンズR.I.会長の来日、会長

代理としてジョージP.サースフィールドR.I.第一副会長を迎えた苫小牧における地区大会、第265地区オーストリアからの研究グループ交換チームの受入、室蘭でのロータリーアクト地区大会、函館でのインターアクト地区大会、類似での第5分区I.C.G.F.、それに現52R.C.の公式訪問、そのほか様々な行事や来訪、来信など忙しいながらも極めて楽しい6カ月でした。

しかし、私は「百里を行く者は九十里を半ばとす」という言葉を思うのです。地区でもあとまだ多くの仕事が残っています。クラブの拡大、各I.C.G.E.、世界社会奉仕の実施、インター、ローターの海外研修、財団並びに米山奨学生の決定、地区協議会をはじめとして次年度への諸準備も大事な仕事です。各クラブも同じでないでしょうか。地区大会で決議されたロビンズR.I.会長の指針への協力、これをどのように実現できたかいつどのように行なうか、いかにするとクラブ計画の実行の問題はむしろ後半にかかりましょう。来る2月23日は、ロータリー創始70年の記念日です。ロータリーの精神を振るい起こす絶好の時です。

このほか、後半には各クラブも次年度への準備があります。次の年度からは年次総会はその年度の12月末までになりますが、今年は3月の年次総会によるクラブ役員決定にはじまる諸準備であります。

こう考えると、あとの半年まだまだ仕事に、奉仕に事欠くことはありません。どうぞクラブ計画書をもう一度読み直して下さい。私のこれまでの月信を項目だけでももう一度読んで見て下さい。そして半期をふりかえりこれらに対処するためクラブ協議会をお開き下さい。日暮れて道遠しでは困りますので、日暮れ前に立派に背の荷をとどけるように、もうひと頑張りしようではありませんか。絶大のご協力をお願いいたします。

●ロビンズR.I.会長の書翰より 地区拡大を図りましょう

今年度に備えての国際協議会にて皆様と私は共にリーダーとしての任務の二つの分野につき勉強し修得いたしました。それは、次の二点です。

1. クラブや会員が実践するように奨励指導すべき事項、そして
2. 私達が個人的に責任をもって実行しなければならない事項

この第一の分野では、皆様は輝かき成績(世界各地からの報告によって知っております)を挙げておられます。その第二の分野にても、第一の面と同様に立派な成績を収めるべき活動に乗り出す時が到来しております。

この第二の分野には、外部拡大、即ち新クラブの結成が含まれます。事実、国際ロータリー細則第13条に規定されている地区ガバナーの任務10項の第一が新クラブ結成であります。そして、ご記憶の通り、今年私共は次の誓約をしました。

「ロータリーの精神を振るい起こせ——」新しいクラブを結成することによって、クラブを育成し得るすべての地域社会に住む人々心と生活の中にロータリーを注ぎ込もう」

多くの地区ガバナーは既にこの分野にても実績を挙げ、数地区における新クラブ数は健全な純増を示しております。

地区ガバナーの中には、既に全世界にゆきわたっているのに、何故拡大を叫び、新クラブを結成しなければならないのか質問される方がいるかも知れません。よりよい世界を築くことに献身する者の組織として、今日、ロータリーが享受している地位は大きな





努力の結果なのです。その努力して得た地位を急激に変化する世界で維持していく為には、健全なロータリー・クラブを育て得る人材を有するすべての地域社会へロータリーを拡大していかねばならないのであります。世界中には、それを待っている地域社会がたくさんあります。それらの地域社会は皆ロータリー・クラブを必要とし、結成するに価する地域社会なのです。ロータリーこそ、「人類世界が生んだ最も偉大な善意の力の一つである」ことを私が確信していることは皆様はよくご存知の点であります。一つの地域社会を見逃がすたびに、それだけロータリーの善意の力が及ぶ範囲を狭くしていることになるのであります。

新クラブの結成には予期した期間よりも長くかかることをに気付きになるかも知れません。それには、既存クラブと特別代表、時には拡大補佐の協力を要します。皆様が任命されるこれらのロータリアンは、新クラブ結成候補地の調査、その結成準備につき絶えずガバナーからの督励を待ち期待しておられるのであります。

そのようにガバナーの皆様も各位の協力を必要とされるのであります。経験豊富なリーダーであられる皆様は、その究極の成功如何はご自身の双肩にかかっていることを十分に自覚しておられることと存じます。今こそ、その具体的な拡大活動の計画を確立させる時であります。新地域社会にロータリーを植えつけることによって、「ロータリーの精神を振るい起こす」ことができるのです。そして、「貴殿の年度」は、たった一度しか来ないことをお忘れにならないで下さい。ご成功を念じます。なお、私にできることがあります時には、いつでもご遠慮なくご一報願います。 1974年12月3日

*Bill* ウィリアム R. ロビンズ

## ◎出席報告 (2/5)

会 員 数	54 名	出 席 率	函 館 北 (2/5)	96.30%
出 席	41 名		亀 田 (1/27)	90.91%
欠 席	13 名		函 館 東 (1/28)	100%
他クラブ出席	11 名		函 館 (1/30)	90.77%
出席合計	52 名		函館五稜郭 (1/31)	100%
出席除外者	0 名			

## ◎第535回例会欠席者 (2月12日)

深瀬・成田・下郡山・椎谷・小笠原・成沢・佐々木・沢村・中原・山内(文)・森(秀)・松本・佐藤・西巻・山矢 (以上15名敬称略)

次回例会日 2月26日

プログラム 「未 定」



角谷隆一 会員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル  
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

## 本日のプログラム

映画 「雪道の安全運転」 函館市交通安全協会

## 第 536 回例会記録

## ◎R.I. 創立70周年記念 函館市内5クラブ合同例会次第

司会 木島 保

1、点 鐘 函館R.C.会長 太幸 六郎

1、国歌斉唱 ロータリーソング・奉仕の理想